

事業所用家屋の貸付状況等の

申告書記載要領



事業所用家屋の貸付状況等の申告書

年 月 日

(宛先) 京 都 市 長

申告書は事業所用家屋ごとに作成してください。

事業所用家屋に名称がある場合にはその名称を記入してください。

居住用部分がある場合はその部分も含まれます。(②から⑥まで同じ)

家屋内に使用者のための駐車場を設置している場合、その床面積(車路等を含む。)を記入してください。()内には総駐車台数を記入してください。

延べ共用床面積は、[①-②-③]の床面積となります。

共用床面積のうち、非課税となる部分の床面積を記入してください。具体的には、ア~エの合計になります。

事業所用家屋が特定防火対象物である場合に記入してください。(事業所税申告の手引の「14 消防防災施設等の非課税」を参照)

この欄は記入しないでください。

申 告 者	氏名又は名称											
	法人番号											
	法人の代表者氏名											
	住所又は所在地	〒□□□-□□□□										
この申告に应答する担当者の氏名等		☎ () -										

マイナンバー制度の法人番号を記入してください。(個人番号の記入は不要です。)

京都市市税条例第199条 第2項(新規) 第3項(変更) の規定により、事業所用家屋の貸付状況等を申告します。

事業所用家屋の概要			
名称			
所在地	京都市 区		
家屋の延べ床面積	①		m ²
延べ専用床面積	②		
駐車場部分の床面積(総駐車台数 台)	③		
共用部分	延べ共用床面積	④	
	非課税に係る共用床面積	⑤	
	案分の対象となる床面積(④-⑤)	⑥	
非課税に係る共用床面積⑤の内訳	特定防火対象物である場合の消防設備等	消防設備等に係る床面積	ア
		防災に関する施設等の床面積	イ (全部が非課税となるもの) ウ (1/2が非課税となるもの)
	ア~ウ以外の非課税となる床面積(号該当)		エ
※整理番号			

消防用設備等に係る床面積を記入してください。

防災用設備等のうち全部非課税に該当するもの(共用部分の避難階段、非常用エレベーター等)に係る床面積を記入してください。

防災用設備等のうち2分の1非課税に該当するもの(共用部分の廊下、階段、昇降機の昇降路部分、ダクトスペース等)に係る床面積の2分の1に相当する面積を記入してください。

消防・防災用設備等以外の非課税施設(使用者が共同して使用する従業者のための福利厚生施設等)があれば、その床面積を記入してください。

貸付状況明細書

家屋の名称

※整理番号

階等	使用者の名称 (屋号等)	使用者の本店等所在地	a	b	c	合計	区分
			専用床面積 m ²	共用床面積 ⑥ × ② m ²	駐車場床面積 ③ × $\frac{\text{使用台数}}{\text{総駐車台数}}$ m ²	a + b + c m ²	貸付等年月日
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
()	※ ※	㊦()	-				入・異・出
合 計							

階等の欄には使用者が使用している階数（室番号の設定がある場合は当該室番号）を記入してください。

事業用に借りて使用している事業者の氏名又は名称を記入してください。

※ 空室がある場合は、「空室」としてその部分も記入してください。

※ この申告に係る家屋の所有者の事業所がこの家屋にあれば、「自己使用」としてその部分も記入してください。

※ 居住用の専用部分が混在している場合は、「居住用」としてその部分も記入してください。

使用者の屋号等があれば（ ）に記入してください。

使用者が個人の場合は住所，法人の場合は本店所在地を記入してください。また，電話番号についても記入してください。

この欄は記入しないでください。

貸付内容の異動申告の場合で、変更が特定の使用者に限られる場合には、その変更のあった使用者のみ記入していただいても結構です。

※ 申告書は、京都市ホームページからダウンロードできます。

この欄は記入しないでください。

a 使用者が使用している専用床面積を記入してください。床面積については、1 m²の100分の1まで記入してください。(100分の1未満は切捨て)

b 次の算式により算定した床面積を記入してください。

$$\text{⑥案分対象となる床面積} \times \frac{\text{a 使用者の専用床面積}}{\text{②専用床面積の合計}}$$

※ 居住用の専用部分が混在している場合についても、当該居住用部分について、上記の算式により算定した共用床面積を記入してください。

c 駐車場部分の全床面積（車路等を含む）を各使用者の駐車台数を基礎として案分してください。

区分欄は、新規貸付については「入」、貸付面積の異動については「異」、転出については「出」に○をしてください。貸付等年月日については、新たに貸し付けることとなった年月日又は既に申告した床面積に異動が生じた年月日を記入してください。

この欄の合計の床面積は、申告書②、③、⑥の合計と対応します。ただし、端数処理の関係で小さくなる場合があります。